

農林水産省登録
第24402号

水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤

日産

オリゼメート®

リディア®

箱粒剤

技術資料



日産化学株式会社

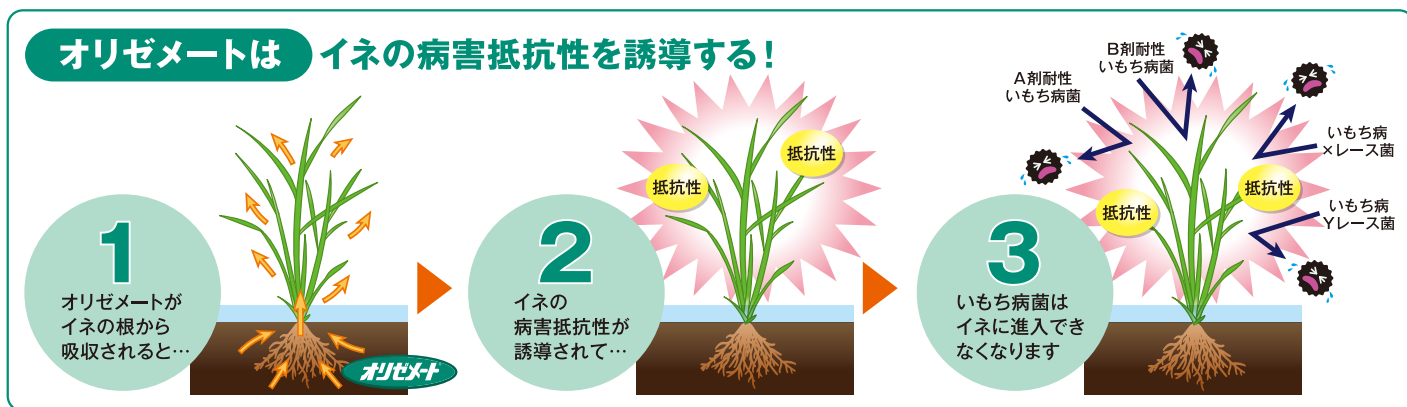
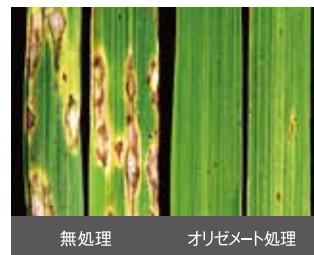


特長

- 1 オリゼメートがいもち病に対して高い防除効果を発揮!!**
殺菌成分のプロベナゾールは植物体の防御機構を活性化し、いもち病に対して高い防除効果を示します。
- 2 リディアが、既存剤に抵抗性を持った害虫にも効果を発揮!!**
殺虫成分のフルピリミンは昆虫の神経伝達系に作用し、麻痺を引き起こして殺虫効果を発揮します。
- 3 ミツバチを始めとする、有用昆虫に影響が小さい!!**
ミツバチのほか、ウツキコモリグモ、ヤゴ等への影響はほとんどありません。

■オリゼメートの作用機作

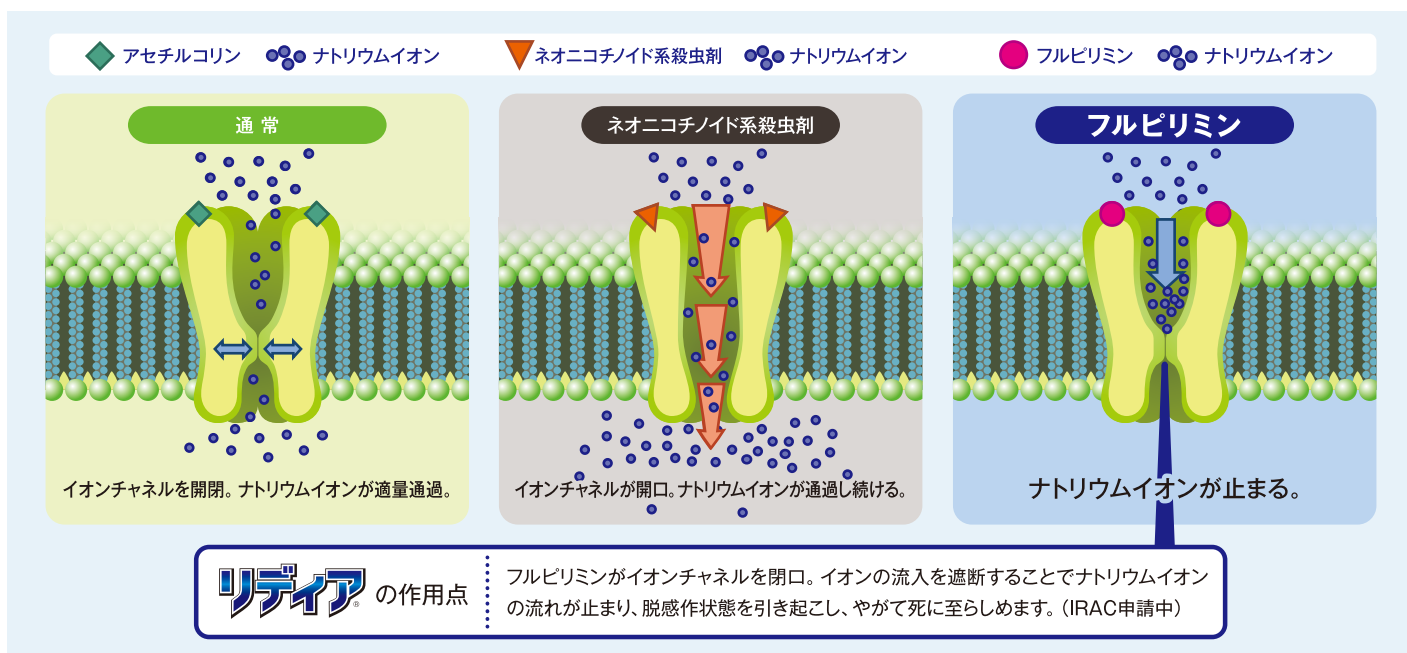
プロベナゾールは直接病原菌に作用して活性を示すのではなく、植物体に病害抵抗性を誘導することにより高い防除効果を発揮します。プロベナゾールを吸収したイネでは、いもち病菌の感染を受けると、殺菌作用があるといわれているスーパーオキシドが放出されたり、抗菌物質が産出されたりします。また、細胞壁の物理的強度を高めるリグニンが形成され、菌糸の蔓延を防ぎます。このような一連の現象はプロベナゾールが、いもち病菌侵入のシグナルを増幅させ抵抗性を発現させるためと考えられています。プロベナゾールは病原菌への直接殺菌力を持たないため、薬剤耐性菌の出現する可能性が極めて低いと考えられ、耐性菌マネジメントの観点からも有効な薬剤と考えられます。



■リディアの作用機作

フルピリミンは、ニコチン性アセチルコリン受容体に結合し、アンタゴニスト(遮断薬)として作用します。イオンチャンネルを閉口させイオンの流入を遮断することで、脱感作状態を引き起こし、やがて死に至らしめます。

ニコチン性アセチルコリン受容体に作用するネオニコチノイドなどの殺虫剤はアゴニスト(作動薬)として作用し、イオンチャンネルを開口させることで、昆虫の異常興奮を引き起こすため、フルピリミンとは作用機構が異なります。



■フルピリミンの有用昆虫に対する影響

フルピリミンは、セイヨウミツバチのほかマルハナバチやマメコバチなどのハチ類に対して、影響がほとんどありません。田んぼの近くでハチが放飼されているような環境でも、安心して使用いただけます。またクモ、ヤゴなど多くの有用昆虫に対して、影響がほとんどないことが確認されています。

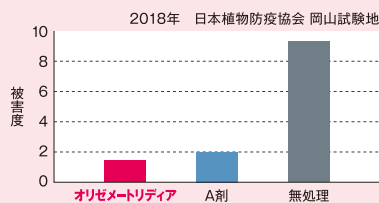
虫種	試験方法	結果
セイヨウミツバチ	成虫/急性/経口	96hr >53.6μg/bee(LD50)
	成虫/急性/局所	96hr >100μg/bee(LD50)
	成虫/散布/リンゴ(花、葉)	100ppmで影響なし
	幼虫/急性/局所	72hr >20μg/μℓ(LD50)
マルハナバチ	成虫/急性/経口	72hr >100μg/bee(LD50)
マメコバチ	成虫/散布/イチゴ(花、葉)	100ppmで影響なし



供試昆虫名	生育ステージ	影響の大きさ(○は影響なし)を示す	試験方法	結果
ウツキコモリグモ	幼体	○	虫体浸漬	>100mg/ℓ(LD50)
アキアカネ	孵化幼虫(ヤゴ)	○	田面水浸漬	箱あたり50g(20枚/10a)で影響なし
クモンクサカゲロウ	幼虫	○	虫体浸漬	>100mg/ℓ(LC50)
ククメリスカブリダニ	成体	○	食葉浸漬	>100mg/ℓ(LD50)
シヨクガタマバエ	成虫	○	ドライフィルム	10>LD50>1mg/mℓ
タイリクヒメハナカメムシ	成虫	○	虫体浸漬	100>LC50>10mg/mℓ
ナミテントウ	成虫	○	虫体浸漬	10>LD50>1mg/mℓ

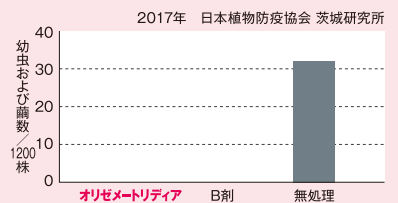
■試験成績

●いもち病



品 種: にこまる 処 理 日: 6月20日(移植当日)
 播 種 日: 5月29日 発生状況: 穂いもち: 少発生
 移 植 日: 6月20日 調 査 日: 9月27日
 処理方法: 育苗箱処理 調査方法: 3区20株の全穂で発病度を調査し、被害度を算出

●イネドロオイムシ



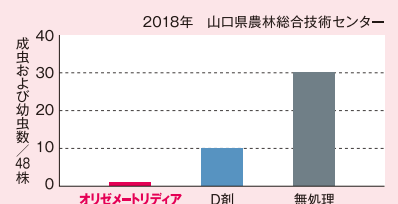
品 種: コシヒカリ 処 理 日: 5月7日(対照剤Bは5月10日)
 播 種 日: 4月14日 発生状況: 少発生
 移 植 日: 5月10日 調 査 日: 6月9日(移植30日後)
 処理方法: 育苗箱処理 調査方法: 全1200株の幼虫および繭数を調査

●イネミズゾウムシ



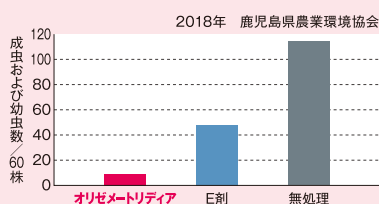
品 種: コシヒカリ 処 理 日: 5月9日(移植当日)
 播 種 日: 4月19日 発生状況: 多発生
 移 植 日: 5月9日 調 査 日: 6月20日(移植42日後)
 処理方法: 育苗箱処理 調査方法: 2区2ヶ所より3株を掘り取り、幼虫・土繭を調査

●セジロウンカ



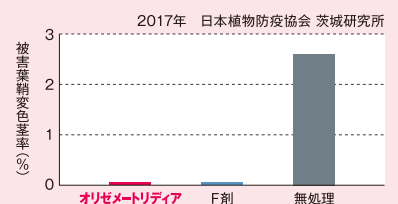
品 種: ヒノヒカリ 処 理 日: 6月17日(対照剤Dは6月20日)
 播 種 日: 5月30日 発生状況: 少発生
 移 植 日: 6月20日 調 査 日: 7月24日(移植34日後)
 処理方法: 育苗箱処理 調査方法: 4区12株について、成虫・幼虫数を調査

●ツマグロヨコバイ



品 種: ヒノヒカリ 処 理 日: 6月12日(対照剤Eは6月13日)
 播 種 日: 5月25日 発生状況: 中発生
 移 植 日: 6月14日 調 査 日: 8月14日(移植61日後)
 処理方法: 育苗箱処理 調査方法: 3区20株について、成虫・幼虫数を調査

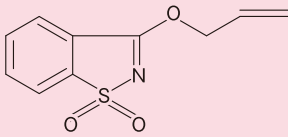
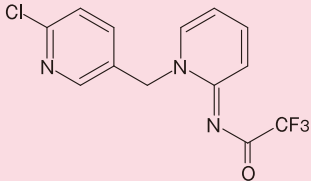
●ニカメイチュウ



品 種: コシヒカリ 処 理 日: 5月7日(移植3日前)
 播 種 日: 4月14日 発生状況: 中発生(放虫)
 移 植 日: 5月10日 調 査 日: 7月10日(移植61日後)
 処理方法: 育苗箱処理 調査方法: 2区2地点50株で被害葉鞘変色茎数を調査

オリゼメートリディアは各病害虫に対して高い効果を示しました。

成分・性状・構造式

農薬名	オリゼメートリディア箱粒剤	
一般名	プロベナゾール	フルピリミン
化学名	3-アリルオキシ-1,2-ベンゾイソチアゾール-1,1-ジオキソド	N-[(E)-1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)ピリジン-2(1H)-イリデン]-2,2,2-トリフルオロアセトアミド
含有濃度	3.2%	2.0%
構造式		

適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm) (使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の苗の上から均一に散布する	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)

⚠️ 効果・薬害等の注意

- 育苗箱の苗の上から所定量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用してください。
- 稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生じる場合もあるので、散布直前の灌水はさけてください。
- 処理苗を移植する本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいねいに行い、移植後に田面が露出しないよう注意してください。
- 処理苗を本田に移植した後は、そのまま湛水状態(湛水深3～5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意してください。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田での使用はさけてください。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予想される場合には使用をさけてください。
- 本剤は処理を誤ると、生育初期の葉の黄化や生育遅延などの薬害を生じるので、所定の使用時期、使用方法を守ってください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠️ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

上手な使い方

① 箱当たり50gを均一に

育苗箱の苗の上から均一になるように散布してください。



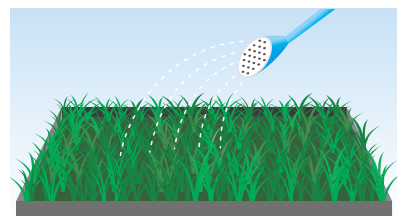
② 軽く払って

薬剤散布後、軽く苗の上半分を払い、葉にひっかかっている薬剤を培土の上に落としてください。



③ 十分に水やり

最後に上から十分に灌水し、薬剤を培土の上に落ち着かせてください。



1箱当り50gを均一に散布してください。

●使用前にラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。●使用後の空袋は圃場や用水路などに放置せず、適切に処理して下さい。

ORD-GPR1A



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>

お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00～17:30 土日祝日除く)